

令和6年8月29日開催
調 査

経済福祉常任委員会資料

○調査事件2 アワビ陸上養殖事業の進捗状況について

産 業 課

調査事件２ アワビ陸上養殖事業の進捗状況について

１ アワビ陸上養殖事業の現状について

（１）アワビ種苗の購入について

町では、令和５年度に種苗購入先である北海道栽培漁業振興公社（以下「栽培公社」という。）からの種苗購入が困難な状況となったことを受け、栽培公社から斡旋のあった岩手県の民間企業と購入に向けた協議を進めてきたところであります。なお、先方からは生産余剰がある場合に限り、令和５年１２月頃までに１万個程度の種苗出荷が可能とのことでしたが、先方からアワビ種苗の確保に目途が立たない旨の連絡を受け、令和５年度の種苗購入を断念しております。

町は令和６年度の種苗確保に向けて、当該企業に対して令和６年度に種苗購入したい旨の意向を伝え、令和６年３月にはサンプルとして、３０mm稚貝を１００個提供していただいております。なお、当サンプルで生育調査を実施したところ生育環境の変化にも対応することを確認し、改めて購入意欲がある旨、先方に伝えております。

このような経緯の中で、本年６月に当該企業から３０mm種苗を５万個購入する契約を締結し、７月１９日に種苗が納品されております。

しかし、岩手県の海水等の飼育環境の変化が影響しているか特定されておりませんが、当町への到着時点から斃死が発生しております。なお、先方からは斃死分の補填に関して、１１月末を目途に補填していただくことで協議済みとなっております。

（２）アワビの生産状況について

令和６年１月２４日開催の当委員会で報告している現生産数は、69,861個と報告しておりますが、現在、施設内で飼育しているアワビ種苗は、42,532個となっております。

なお、現生産数の減少の理由として、春先に販売サイズに到達した種苗の販売及び今後の成長が見込めない種苗を加工用として販売したことが主な要因となっております。

種苗の成長状況は、令和５年１１月にアワビ種苗の購入先である岩手県の企業を視察した際に、餌のサイズ分けや給餌方法等のアドバイスを受け、飼育環境を変更して以来、アワビ種苗の生育がこれまでより向上することにつ

ながっており、引き続き同様の給餌方法により生産してまいります。

(3) アワビの販売状況について

令和5年度は種苗の成長が低調であったことから、前年度と比べ販売数が大幅に減少しておりますが、令和6年度においては、前年に成長を促す期間を設定したこともあり、春先から販売サイズが順調に確保されております。

このことから、飲食店や一般社団法人福島町まちづくり工房（以下「まちづくり工房」という。）と株式会社五島軒（以下「五島軒」という。）がコラボレーションしたレトルト商品「アワビカレー」へのアワビの供給を再開しており、アワビカレーの販売・提供が通常どおりに行われております。

また、昨年度、実施できなかった町民向け一般販売は、令和6年8月9日に実施することができ、お盆時期に併せて多くの町民の皆様にご購入していただく機会となりました。なお、近年の販売状況は、次のとおりです。

（単位：個、円（税込））

	活販売				冷凍商品及び ふるさと納税		合 計	
	一般		商用		個数	販売額	個数	販売額
	個数	販売額	個数	販売額				
R3	9,474	2,061,124	22,758	4,833,790	3,145	1,139,176	35,377	8,034,090
R4	4,960	831,404	17,394	2,927,144	3,720	1,311,168	26,074	5,069,716
R5	0	0	5,289	829,250	830	264,803	6,119	1,094,053
R6	2,493	590,943	8,515	1,518,079	350	108,302	11,358	2,217,324

※R6の数値は、令和6年8月21日現在の数値である。

2 今後の種苗確保について

今後の種苗確保については、これまでアワビ種苗を購入していた栽培公社において、令和5年度に発生した病気（筋萎縮症）が要因となり、当面の間、栽培公社からの種苗購入が厳しい状況が続くことが見込まれております。町では、このような状況を踏まえ、次年度以降も栽培公社から斡旋された当該企業から購入することで進めております。

また、栽培公社の現段階での種苗生産の状況については、新たな親貝で採卵して試験的な栽培を行っており、種苗供給に大きな期待はできませんが、中間育成を行っている当町のような施設に対し、可能であれば供給したい旨のお話しも得ており、栽培公社から供給可能との連絡があった場合には、今

年度中に予算補正により購入することも想定しております。

しかし、栽培公社からの本格供給については、北海道が事業主体となり導入予定の紫外線殺菌装置の設置時期を考慮すると、令和5年から起算して3年程度の必要時間を要することが想定されており、引き続き岩手県産種苗の購入を基本とした種苗調達を進めてまいります。

3 陸上養殖アワビの販売計画について

令和6年度におけるアワビの販売計画は次のとおりとなっており、令和2年度産及び3年度産の種苗については、成長不良貝が多くなっており、加工用として販売することを計画しております。

また、令和4年度産については、多くの種苗が優良な種苗であり販売サイズへの到達スピードも速く、期待しているところであります。

令和6年度産については、当該企業からサンプルとして提供があった種苗で、令和6年3月上旬に30mm種苗の状態でご当地に到着した種苗の多くが1年間で出荷サイズとなる見込みとなっております。

(1) 令和5年度までに既に生産している種苗

(単位：個)

管理区分	在庫数	9月までの見込み	12月までの見込み	3月までの見込み	今後の販売予測	令和7年度へ繰越
R2年産	616	180	150	50	380	236
R3年産	6,756	300	200	150	650	6,106
R4年産	29,339	2,500	4,000	3,000	9,500	19,839
R5年産	90		45	45	90	0
販売用	5,731	5,731			5,731	0
計	42,532	8,711	4,395	3,245	16,351	26,181

※1 R5年度欄は、岩手県からサンプルとして提供を受けたもの

※2 販売用は各年産から販売サイズに到達したものをまとめた数値

(2) 令和6年度に岩手県から購入した種苗

管理区分	在庫数	9月までの見込み	12月までの見込み	3月までの見込み	今後の販売予測	令和8年度へ繰越
R6年産	49,000			10,000	10,000	39,000

※1 R6年産の在庫数は、5万個から斃死相当分を10%差し引いた数値

※2 9月から3月までの販売見込みは、令和7年度中の数値

4 近年3か年の決算状況について

[歳入]

(単位:千円)

科 目	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
財産収入						
活販売(一般)	2,061	2,061	831	831	0	0
〃(飲食店等)	4,829	4,919	2,880	2,927	792	829
冷凍食品(5個)	330	338	253	253	8	8
冷凍食品(10個)	0	0	-	-	-	-
〃(卸/70%)(5個)	17	17	52	52	-	-
〃(卸/60%)(5個)	680	708	787	809	244	244
ふるさと納税	117	121	197	197	13	13
歳入 計(①)	8,034	8,164	5,000	5,069	1,057	1,094

[歳出]

(単位:千円)

科 目		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
節	細 節	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
報酬	水産アドバイザー報酬	2,640	2,640	-	-	-	-
報償費	専門家謝金	-	-	150	150	150	100
共済費	社会保険料等	344	334	-	-	-	-
旅費	普通旅費	32	14	170	96	170	123
需用費	消耗品費	2,725	2,542	2,268	2,408	2,436	2,324
	燃料費	124	168	172	127	177	133
	印刷製本費	330	280	642	642	32	32
	光熱水費	3,002	2,930	3,261	2,979	2,604	2,452
	修繕費	1,215	1,137	300	178	732	596
	アワビ稚仔購入費	1,980	1,980	2,693	2,693	0	0
需用費 計		9,376	9,037	9,336	9,027	5,981	5,537
役務費	通信運搬費	306	189	206	170	143	110
	各種手数料等	354	190	296	253	305	171
役務費 計		660	379	502	423	448	281
委託料	消防用設備点検委託料	37	37	33	42	37	37
	除雪業務委託料	-	-	251	182	269	76
	水槽小屋移設業務委託料	-	-	902	902	-	-
委託料 計		37	37	1,186	1,126	306	113
使用料及び賃借料	機器・器具等借上料外	15	15	169	15	169	15
備品購入費	管理用備品購入費	975	965	521	160	343	126
人件費	会計年度任用職員	6,368	6,336	6,508	6,422	6,675	6,763
歳出 計(②)		20,447	19,757	18,542	17,419	14,242	13,058

収支(決算)(①-②)	▲11,593	▲12,350	▲11,964
-------------	---------	---------	---------

5 今後の方向性について

近年、アワビ種苗の状況については、成長不良等もあった中、現時点で改善傾向にあり将来を見据えて安定的な生産体制の確立を図れるような状況に近づいております。

生産面においては、令和6年度から現場作業員の勤務体制の見直しを行っており、土日勤務をシフト制で割振りし、毎日、夕方に給餌するように変更しております。

これは視察を行った当該企業からのアドバイスによるものであり、給餌方法等を変更して以来、種苗が生育するスピードが向上しております。

このことから、これまでアワビの出荷に要する期間を2年半から3年程度と説明してまいりましたが、今後は2年から2年半で出荷サイズとなることで販売計画を見込むこととしております。

年々、天然蝦夷アワビの生産が減少する中で、当事業により、陸上アワビが福島町の新たな特産品として認知されつつあり、今後のアワビ陸上養殖事業の展開に当たっては、引き続き大口取扱いとなるまちづくり工房と五島軒の「アワビカレー」への供給を積極的に行うとともに、町内飲食店で常時アワビカレーが提供され、町のご当地グルメに定着できるよう取り組むとともに、町民への直売会を開催し、さらなるアワビ陸上養殖の認知度向上と普及に努めてまいります。